

劇団かに座 稽古用台本 パート①

作ねじょう

※稽古用としてご自由にお使いください。

- 一 一 『長セリフ』 二人（男1女1）
- 一 二 『なんですか』 二人
- 一 三 『かなり長いセリフ』 一人
- 一 四 『刑事と容疑者』 二人
- 一 五 『それな』 三人
- 一 六 『海』 三人（セリフのリズム）



『かなり長いセリフ』 一人

宇宙人 確かに私は宇宙から来ました。もう何万光年と離れた、はるか遠い所から。この星にたどり着いたのは、奇跡と

しか言いようがありません。だから、もう少し歓迎してくれてもいいんじゃないやありませんか？そりゃこんな見た目を

していたら、おかしいとか変とか思われても仕方がないのかもしれないや。でも、それはこの星での見た目の常識の話で、私達の星ではこの格好が当たり前なんです。道行く人はみんなこんな格好をしています。逆にこの格好をしていないと笑われるくらいです。ホラ、聞いてください。私の言葉。分かるでしょう？「レ、この星のこの日本って国の言語に翻訳して聞けるような装置を、私の星の科学者が開発したんですよ。すごいでしょう？この科学の進歩レベル。この星に、同じようなものってありますか？この星の言葉を、我々テナガバムトカマソン星の言語に翻訳できるようなもの。それだけ科学の発達している私達が、この遅れている星にこうしてわざわざやってきたんですよ。私達の技術を伝えれば、この星はさらに発展していくんです。これで、どうして歓迎されないのか、不思議です。あー分かった。あれですね。地球を侵略しようとしてくる宇宙人っていうストーリーが昔っから世間に浸透していて、どうしてもそういう色眼鏡で見えてしまっているやっすね。でも、考えてみてください。仮に、この星を侵略してしまったとして、こんな遠い所をどうやって管理していくんです。我々の星のものを派遣しますか？誰だってこんな所に来て住むのは嫌がりますよ。あなた方の所で言う・・・単身赴任ってやつですよ。だから侵略したくても、うちの星で反対意見がたくさん出るだろうから、できないんです。私は長い時間をかけてここまでやってきました。かなり疲れているんですから、私にねぎらいの言葉の一つもくれたっていいんじゃないでしょうか？小さい男の子が私に近寄って握手をもとめてきましたけど、その子のお母さんが慌ててその子に近寄って、引き離しました。ああいう行為ってすごく傷つきます。まるで子供が汚いものでも触らないようにって感じじゃないですか。言っておきますけど、私達は、あなたが思っているよりも清潔です。体に微生物や菌が寄せ付かない薬を持っていますので。だから私達は安全です。この一番偉い人を呼んでください。その人とお話しします。

早く呼んでもらわないと、私の忍耐も限界にきて、このドルンソマシ銃を発砲しますよーだからできるだけ急いで！あれ？総理大臣じゃないんですか？「こはどこです？こは・・・こはどど・・・保育園？」

『刑事と容疑者』 二人

刑事 いいか？あなたは夜の七時に「バーあいこ」に行つて、ママと話ながらウイスキー水割りを飲んだ。その後八時四十五分頃に店を出て、九時に同僚の川西に携帯で電話して呼び出した。それから「泰明軒」というラーメン屋で味噌ラーメンを食べて、ドン・キホーテに行き店内をブラブラと見て回り、十時三十分川西さんと西鴨井公園で会つた。そこで二人は言い合いになり、川西さんが持っていたナイフを出してきた。それでもみ合っているうちに、ナイフが川西さんの胸に刺さってしまった。というわけなんだろう？

容疑 刑事さん、いいですか？確かに私は十時三十分川西さんと西鴨井公園で会いました。お互いが興奮して言い合いになってしまいました。でもそれつきりで、そのまま川西さんとはけんか別れのような感じで、私が公園から走つていってしまったんです。そんなナイフなんて知りません。だいたい、その時、川西さんはこの後田口さんと会う事になっていると話してました。

刑事 田口さんにはもう話は聞いた。川西さんと会う約束はしていたが、時間になつても来なかつたし、電話も通じなかつたのです。つかされたんだと思つたみたいだ。それに「バーあいこ」のママに話を聞いた所、あなたは酒を飲みながら川西さんの愚痴を言っていたみたいじゃないか。あんなひどい人は死んでも構わないって言つてた。とママが証言しているんだが。

容疑 刑事さん。あそのママと田口さんがどういふ関係だつたのか知つているんですか？あのママさんなら、それくらいの嘘はつくでしょうね。

刑事 じゃあ、ドン・キホーテで何か買つたよな？ 何を買つた？…ナイフだよな？ 防犯カメラにも映つていた。

容疑 来週にキャンプに行くので買つた。ただそれだけです。それじゃ、ナイフを一本買つと逮捕されちゃうんですか？

刑事 それなら「泰明軒」の店長になつて言つた？「これから大仕事があるから大変」て喋つたそつじやないか？

容疑 ええそつです、喋りましたよ。私、実は川西さんの事が大嫌いなので、二人つきりで話すだけでも嫌な気持ちになるんです。だから、「大仕事がある」つて言いましたよ。それがなにか？

刑事 嘘をつけ！待ち合わせ場所に指定した「西鴨井公園」こは、あんたと川西さんの思い出の場所だつたんだらう？

容疑 そつです。でもそれも昔の話です。だいたい、川西さんと別れた後で、私は木下さんと会つたんですよ。人を殺した後で、誰かと会おうとなつてしますか？

刑事 もちろん木下さんにも話を聞いた。なんだか、あなたがとつても急いでいるような様子だつたと言つていた。

容疑 そりゃそうですね。木下さんと会ったのが十一時十五分。あまりグズグズしていると、私の家に帰る終電がなくなってしまいましたからね。

刑事 あなたの最寄り駅につく為の最終電車は十二時二十五分発。まだ十分時間があるように思いますが。

容疑 電車はそうですね。駅からのバスの最終は十一時四十五分が最終なんです。

刑事 でも、それだつたら、タクシーとかで帰ればいいだけでしょ？なんでそんなに急いでいたんです？ひよつとして、アリバイ作りの為に、木下さんと会ったとかではないんですか？

容疑 木下さんとは、もう朝から会う約束をしていました！

刑事 ……そうですね。じゃあ、話を戻しましょう。あなたと川西さんとの思い出の場所の「西鴨井公園」に

刑事 あなた達は話していたそうですね。あなたがよく知っているこの場所に、例えば、事前にナイフを隠しておいて、トイレにでも行く振りをしてナイフを持ち出し、そして、グサッと刺す。こういう事も可能ですよね？

容疑 だから私じゃありませんって！刑事さんもしつこいですね。十時三十分川村さんと会って、公園を出たのが

十時四十五分なんです。十五分くらいの短時間で、言い争いして、ナイフで刺してって出来ますか？

刑事 そう言うと思いました。そう思っって、この人の話を聞いてきましたよ。

容疑 あ、それは……

刑事 この方は、確かに、時間を止める秘密道具「タンマウオッチ」を、四次元ポケットから出して、あなたに貸したと供述しています。あと、速く走れる秘密道具「にんげん機関車」も貸した、と。さあ、もう観念してください。

(男なら)スネ夫さん。(女なら)しずかさん。

容疑 裏切った……ど、ドラえもんが……

『それな』 三人

A それな。

B その言い方だと、ちよつと違うんだなあ。

A (違う言い方で)それな。

B それでも無い。例えばさ、(C)に(今日終わって、飲み行くのって、どこにする?)

C うーん…

B じゃあ、「一杯飲み屋 与兵衛」でイイ?

C それな!

B ほら「リ」。どう? やってみて。

A (また違う言い方で)それな。

B 若干、違う。

C 頭の中でイメージしてみな。「それな」って返事するシチュエーションみたいなものを。

A はい。イメージ…ですね。(イメージする)

B じゃあもう一回やってみようか?

A ……(また別の言い方で)それな。

B そうじゃないんだよ。

C 頭の中が固まってきてるんだよ。ホラ、お花畑を頭に咲かせて。楽しい事考えて…一番楽しい場所どこ?

A (楽しい場所を言う)

C じゃあ、自分がそこにいる事考えてみて…考えた?

A はい。

B なら行くよ…ハイどつぞ。

A それな。

B あー…近づいてたのに、離れちゃった。

『海』 三人（セリフのリズム）

- A 海だ！
- B 泳ぐぞ！
- C 溺れるぞ！
- A 波だ！
- B 乗るぞ！
- C 水飲むぞ！
- A 砂だ！
- B 埋めるぞ！
- C 気持ちいいぞ！
- A お腹すいた！
- B 焼きそばだ！
- C うまいぞ！
- A ヤドカリだ！
- B ひっこむぞ！
- C 持って帰るぞ！
- A ビールだ！
- B 酔うぞ！
- C 寝ちやうぞ！
- A また海だ！
- B 足つるぞ！
- C 救助されるぞ！